
～東日本大震災発生から1年～
TOKYO FM 各番組で『LOVE & HOPE』をテーマに放送
ラジオは“心のライフライン”
リスナーから寄せられた見えない想い

2012年3月5日～3月11日 TOKYO FM 実施 アンケート 結果

- この1年で、約70%の人の行動に変化。
- 震災時、ラジオからの情報で「役に立った」「心に残った」のは、
「災害、被害状況」「ライフライン情報」に次いで、「励ましや癒しの音楽」
「パーソナリティーの紹介する応援メッセージ」

「ヒューマンコンシャス～生命(いのち)を愛し、つながる心～」を理念に掲げる TOKYO FM では、震災直後から『LOVE&HOPE』というテーマで、年間を通し様々な震災の現状と復興支援のメッセージを全国のリスナーへ届けてきました。

東日本大震災発生から1年をむかえる3月5日(月)～3月11日(日)は、TOKYO FM の様々な番組で『LOVE&HOPE』をテーマに、見えない想いや声を拾い集めようと、中継・取材を通じた様々なプログラムを放送。

その一環で、1年経った今、震災前後の心と行動の変化や、ラジオに対して感じていることを問うアンケート『LOVE&HOPE ハートフルボイス』を、TOKYO FM の Web サイトで実施しました。

結果、【この1年で、「新しく始めた事」、「やめた事」は なにかありますか?】という問いに対して、68%の人が「ある」と回答。その内容は、節電・ボランティアへの参加や、情報収集の方法の変化、などというものでした。

また、【大震災が起きた直後、ラジオからの情報で「役に立った」、「心に残った」と思うもの】の問いに対しては、「災害、被害状況」に次いで、「励ましや癒しの音楽」「パーソナリティーの紹介する応援メッセージ」に回答が集まりました。

また、【災害時(直後～1ヶ月程度)に、ラジオに最も求めたい放送内容は何ですか?】という問いに対しても、「災害、被害状況:22%」「ライフライン情報(電気、ガス、水道、電話):19%」に次いで3番目に多くの人が「励ましや癒しの音楽:14%」を選択、ラジオは、命や生活を守るメディアとして機能すると同時に、音楽やメッセージを通じた“心のライフライン”という大きな役割があるという結果になりました。

さらに、フリー回答項目【最近あなたの心が「動かされた」言葉はありますか?それは、どんな言葉ですか?】へは、家族や友人の感動的な言葉のほか、歌の歌詞やパーソナリティーが発した一言が数多く寄せられ、あらためて、ラジオを通じて届けられることができる“言葉”と“音楽”には大きな力があることを再認識させられました。

TOKYO FM は、これからも、心に届くメディアとして、リスナーの見えない想いを集めて、寄り添い、届ける放送をいたします。

<『LOVE&HOPE ハートフルボイス』アンケート 結果抜粋>

【調査概要】

実施期間：2012年3月5日(月)～3月11日(日)

実施方法：TOKYO FMリスナーを対象にWebで実施、アンケート回答者：228名

回答者属性：・男性 45% / 女性 55%、

・15歳以下 2% / 16～19歳 5% / 20～29歳 10% / 30～39歳 38%
40～49歳 35% / 50～59歳 9% / 60歳以上 1%、

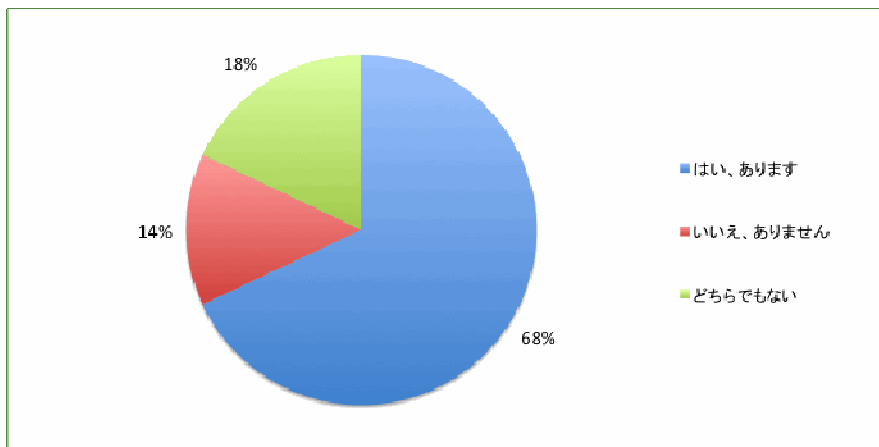
・子どもの有無 有 39% 無 61%、

・関東在住 88.6% / 東北在住 4.8% / 中部在住 3.8% / 関西在住 2.2% /
中国四国在住 2.1% / 九州在住 5.1%

【節電、ボランティアから、SNS、勉強、転職まで、約7割の人の生活に変化】

Q. この1年で、「新しく始めた事」、「やめた事」は なにかありますか？

68%の人が「ある」と回答しました。



【回答例】

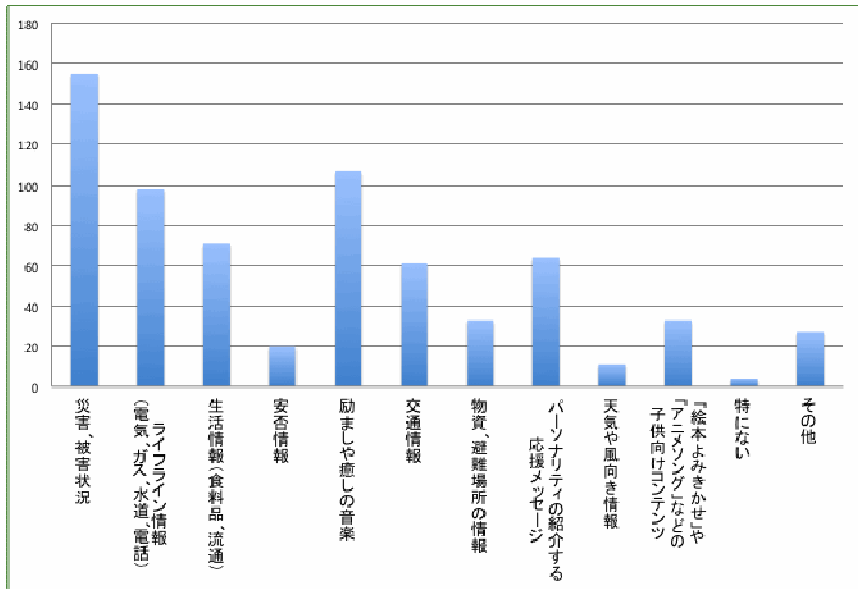
- ・エコを意識した生活です。地震が起きてから、節水・節電に努めています。例えば冬場、寝室のエアコンを使わず寝る前に布団乾燥機で布団を暖めてから寝ています。(29歳・女性)
- ・自然科学に関する本を読むようになりました。あの震災で、自然の恐ろしさを身に染みて痛感しました。(50歳・男性)
- ・震災をきっかけに自分の健康状態が悪化し、心の健康を第一に考えた職場へ転職しました。(34歳 女性)
- ・新聞やテレビ等では得られない情報をネットなどで積極的に集めるようになった。(35歳 女性)
- ・朝だけでなく日中はラジオをよく聴くようになりました。TVの情報が余りにも強烈だったことと、少しでも節電になるならと、手回し充電のラジオを使い始めました。(48歳・女性)
- ・わが子の生活状態にうるさく干渉することをやめました。いつ何時あのような災害があっても人生に悔いがないように生きてほしいと、切に願うようになりました。(51歳・女性)
- ・考えても仕方がない事を整理し無駄な考えや悩みを持つことを辞め、気持ちを強く持って前に進むことを始めました。(36歳・男性)

【音楽やパーソナリティーの応援メッセージなどに、ラジオらしさ】

Q. 大震災が起きた直後から一ヶ月の間にラジオを聴いた方に伺います。そのとき、ラジオからの情報で「役に立った」、「心に残った」と思うものは何ですか？(3つまで選択可能)

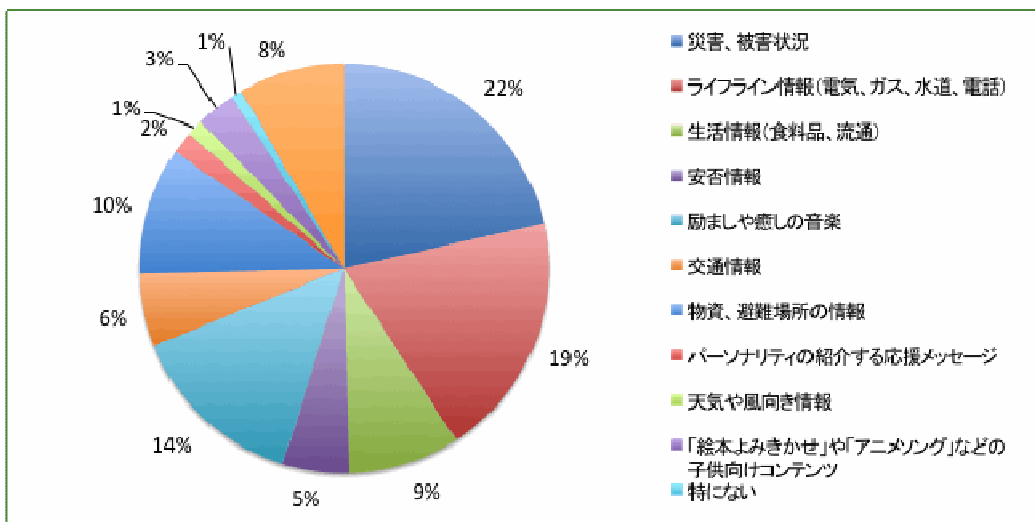
(回答が多かった順)

- 1:「災害、被害状況」
- 2:「励ましや癒しの音楽」
- 3:「ライフライン情報」
- 4:「生活情報」
- 5:「パーソナリティーの紹介する応援メッセージ」



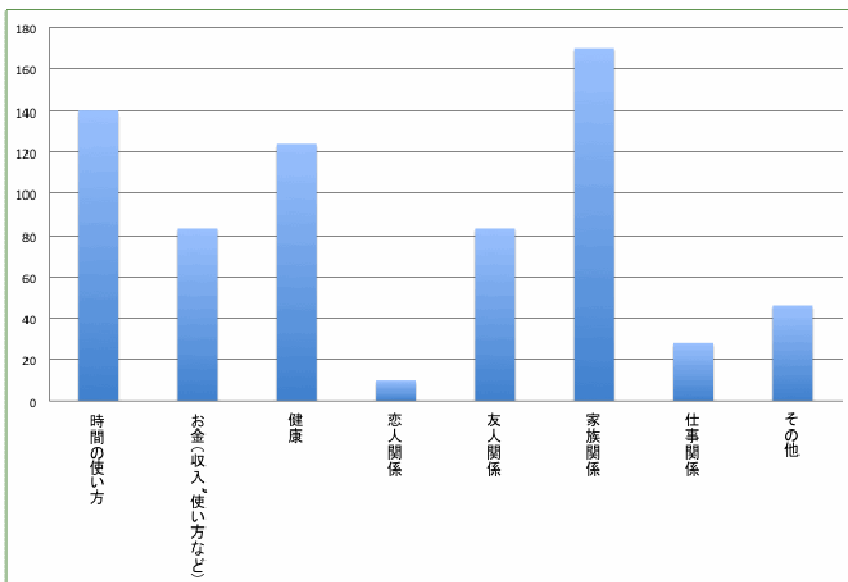
Q. 災害時(直後～1ヶ月程度)に、ラジオに最も求めたい放送内容は何ですか？(ひとつのみ選択)
(回答が多かった順)

- 1:「災害、被害状況」 2:「ライフライン情報(電気、ガス、水道、電話)」 3:「励ましや癒しの音楽」
4:「物資、避難場所の情報」 5:「生活情報」 6:「交通情報」



Q. 震災前と後を比較して、より大切にしたいものは何ですか？(3つまで選択可能)
(回答が多かった順)

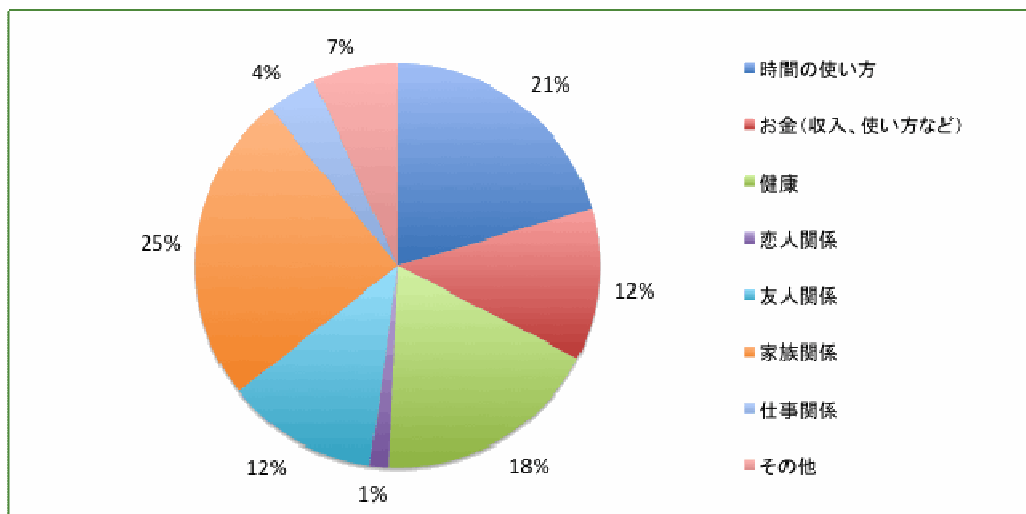
1. 「家族関係」 2. 「時間の使い方」 3. 「健康」 4. 「お金(収入、使い方など)」 5. 「友人関係」



Q.震災前と後を比較して、あなたの生活で最も変化したことは何ですか？(ひとつのみ選択)

(回答が多かった順)

1:「家族関係」 2:「時間の使い方」 3:「健康」 4:「友人関係」



Q.最近あなたの心が「動かされた」言葉はありますか？それはどんな言葉ですか？

【回答例】

- ・子ども達の何気ない「おはよう」や「おやすみ」の普通の挨拶(41歳 男性)
- ・「一緒にがんばりましょう。僕もがんばります。」
『クロノス』で、中西哲生さんがたびたび言っていた言葉です。(37歳・女性・福島県出身)
- ・ラジオで、「顔晴れ」で頑張れと平原綾香さんが言っていた言葉に、心を動かされた。(35歳・男性)
- ・泣くのを我慢しちゃダメ。泣くだけ泣いて、泣き止んだら前を向いて行こう。(36歳・男性)
- ・ありがとう、ですね。頑張って、とか、絆とか色々言われましたが、色んな意味で、色んな人達に感謝を表すこの「ありがとう」と言う言葉が本当に今必要なのではと思いました。(51歳 男性)
- ・FM仙台の名護さんの「あなたは一人じゃ、ありません。あきらめないでください。」このフレーズが忘れられないです。(21歳・男性)
- ・出口の無いトンネルはない。(62歳・女性)
- ・私にかかわってくれている人たちは笑ってますか？今日、私はあなたのためになにかできていますか？(47歳 女性)
- ・ラジオを聴いているたった今です。リスナーからの投稿で震災後「いろいろなことを後回しにしなくなった」そしてこの投稿にパーソナリティーの望月理恵さんが「明日が来るのが奇跡」と応えたこと。(42歳・女性)

アンケートの結果は、サイトで公開中です。

<http://www.tfm.co.jp/lhhodo/form/>

(参考 :Twitter TOKYO FM 関連番組ハッシュタグ コメント 抜粋)

多くのリスナーが、TOKYO FM の各番組を聴きながら、その想いを Twitter でも発信してくださいました。その一部を抜粋してご紹介します。

- ・(『平原綾香のヒーリング・ヴィーナス』に対して)「おひさま~大切なあなたへ」を生アカペラ！またしても泣きそうになってしまった…。
- ・職場で流れている『シナプス』を聴きながら、パーソナリティーやまだひささんの著書「永遠に語り継ぎたい3・11の素敵な話」を読了。今日はあの日の前日、花火よ届け。

- ・（番組内、シンディ・ローパー特集に対して）音楽ってすごい！でもシンディの行動は本当にすごい！！「悪いことは世界中で起こってる。でもいいことも沢山起こってる。」グッときた。ありがとうシンディ。
- ・いつもはスペイン坂で生放送の『COUNTDOWN. j p』が郡山で高橋優のライブを生放送中。震災後『SCHOOL OF LOCK!』リスナーのメッセージから生まれた曲“卒業”が1年かけてどんどん広がっていく。。。
- ・震災の日、翌日までずっと柴田幸子アナウンサーのメッセージに助けられたのを覚えています。
- ・『山下達郎のサンデー・ソングブック』や『安部礼司』など、いつもの番組も、良いものはこういう時でも良い。つながりを再確認できる。
- ・テレビと違い、音楽が流れるのは、ラジオのいいところなんだよね～
- ・シンプルに向き合い寄り添うのがラジオの力だなと改めて思う。画がなくても深いところに伝わる。

<以下、3/11(日)2:46 を迎えた番組『山下達郎のTSUTAYA サンデー・ソングブック』に対して>

- ・あの時のことは、忘れない。あの時助けられたラジオから、流れる鐘の音と共に、手を合わせた。
- ・TOKYO FM『山下達郎のサンデー・ソングブック』この日この瞬間に聴いたのが、この番組で良かった。
- ・311 だからグッドミュージックが必要なのだ。
- ・希望という名の光は必ず流れるよなって思ったらまさかのアコースティックライブバージョンかあ
- ・“希望という名の光”。山下達郎さんの歌とともに、静かな気持ちであの時間を迎えられそう。
- ・わたしが知っている中では、多分、今、一番心によりそっている番組。お便りから見えてくる現実の姿。一年前の特別プログラムと同様、音楽でまた力を賞えている。これ以上の感謝がありようか。
- ・黙禱の後に、竹内まりやの“いのちのうた”。心に染みだ。
- ・今日という日の捉え方が穏やかになりました。ありがとうございました☆家族友人にもこの感情を伝えていこうと思います。
- ・亡くなられた方々への鎮魂を込めて黙禱した。達郎さんの言うとおりに、世界の争乱や災害が一日も早くなくなれることを願う。